【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公開番号】特開2008-224787(P2008-224787A)
【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-038
【出願番号】特願2007-59405(P2007-59405)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/30　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/30　Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１１Ｈ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｒ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２４Ｂ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ｄ
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月22日(2009.1.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
しかしながらこの図４及び図５による構成では、新たな問題が発生する。すなわち移動度のばらつき補正に係る期間Ｔμを決定する書込み信号ＷＳは、垂直スキャナー１６Ａにおいて、所定の基準パルスを用いて走査線ＳＣＮ毎に生成され、バッファ回路等を介して各画素１３に入力される。従って書込み信号ＷＳは、画素に至るまでの間に設けられたトランジスタにおけるしきい値電圧、移動度等のばらつきにより、図６に示すように、書込み信号ＷＳにおける位相、トランジェント等がばらつくようになる。その結果、ディスプレイ装置１１では、ライン間で、移動度を補正する期間Ｔμがばらつくようになり、ライン間で輝度レベル差が発生する問題がある。なおこのようなライン間の輝度レベル差は、例えば暗い表示画面において、スジとして視認される。